

医療法人社団 十善会 野瀬病院

「愛情・丁寧・親切」

1. 地域の方々のために良質な医療・看護・介護に努めます。
2. 患者さんの立場を尊重します。医療方針などの説明を丁寧に行い、適切な医療を選択することができるよう努めます。
3. チームワーク医療並びに地域連携に努め、快適な医療環境を目指します。
4. 法人職員として研修と研鑽に努め、デリケートな仕事をを行います。
5. 法人の健全な運営に努めます。



会社概要



- 代 表 者 ● 病院長 野瀬 範久
本社所在地 ● 神戸市
事 業 内 容 ● 診療科目：内科、外科、整形外科、循環器内科、
泌尿器科、リハビリテーション科、皮膚科、
腎臓内科(人工透析)
※リハビリテーションは、完全予約制
従 業 員 数 ● 279名(非常勤含む) うち障害者数8名
(身体障害者4名、精神障害者4名)
ホームページ ● <http://nose.webmedipr.jp/>

障害者雇用について人事担当者にインタビュー

障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

平成25年の障害者雇用促進法改正時から、本格的に取り組むことにしました。説明会に参加してみると多くの方に興味を持っていただき、その中から2名を採用しました。ただ、受け入れてはみたものの、私たちの勉強不足が災いして結局一年ほどで2名とも退職してしまいました。

自分たちの受け入れ態勢を見直す必要があると痛感しました。この時期に掘が当病院へ入職しましたので、研究会に出席したり障害者雇用に尽力されている色々な方からお話をいただいたりして一から勉強していきました。



インタビューに答える人事担当
法人本部長の林 政徳さん

採用はどのように？

まずは「障害者の方がどうすれば仕事を続けられるか？」という上目線の考え方をやめて、「楽しく仕事を体験してもらおう」という方針を立てました。就労支援の受け入れ先として広く門戸を開き、多くの特別支援学校から見学や就労体験にお越しいただいています。病院の様々な業務を体験してもらい、その中から障害者が楽しくできる分野を見つけてもらいます。

採用時には普通の方と全く同じように面接し、人となりや性格、趣味のことまで広く話し合い、ここで働いてもらいたいと思った方に来てもらっています。



インタビューに答える人事担当
施設管理課主任の堀 浩輝さん

採用された方はどのような職種に就かれていますか？

院内での仕事を約60項目に分類し、その中から「自分にできるもの」「やってみたいもの」を選んでもらっています。具体的には清掃、物品管理。イベントの準備や運営、その他職員会議の手配など多岐に渡ります。

医師という仕事は「スペシャリスト」で、病院に勤める多くの人たちは〇〇科といった専門分野を持っています。逆に言うと、専門分野以外の仕事は職務上あまりできませんので、各分野の間を繋ぐ「ゼネラリスト」の存在が重要になってきます。当医院では障害者を「ゼネラリスト」の一員と捉え、できる事には何でも挑戦してもらえる環境を作っています。

障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

率直な表現をしますと「キレイごとだけではない」と思いました。始めた頃は私たちも障害者と向き合う姿勢が取れておらず、障害者の方が「普通に接してもらえない」と感じて悩んでしまったと思います。受け入れ体制を整えつつある今でも、日々気付くことや勉強させてもらうことが多いです。

今後の目標としては、看護師や医師が行う業務の補助をしてもらいたいです。実際の治療を行うわけではありませんが、器具の準備や資料の整理などを通して医師や看護師の業務負担を減らせる、より重要な人材になってほしいです。

雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

一人ひとりサポートの体制に違いはありますが、風通しのよい職場であるように配慮しています。例えば、仕事場で言えなかったこと、聞けなかったことがあるという話が出たことがきっかけで交換日記を始めた方もいます。家に帰ってわからなかったことや疑問に思ったことを溜め込んでしまわないように注意しています。



みんなで仮装してイベントを開催

また、基本的なことですが指示や仕事の依頼を明確にするように努めています。私たちの話し方が「早口に聞こえる」という意見があったので、ゆっくりと話すように気を付けています。この他、仕事を分類した一覧に番号を振り「今日は午前中に3番の清掃を、午後からは5番のイベント準備をしましょう」というように、わかりやすい表を作って仕事を願うようにしています。

最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

働きたい障害者が、仕事を通してやりたいことに何でも挑戦できるようにしてあげるのが良いと思います。一緒に働いている私たちや医師も、決して全て100点の人はいません。得意不得意は誰にでもありますので、できるところから少しずつ覚えてもらう。障害者だからという考えはしないで、彼らにしてみらいたい業務を相談し、積極的に挑戦する姿勢を支えてあげられるようにしてほしいと思います。

勤務されている方へのインタビュー

いつからこの会社に勤めていますか？

平成27年にこちらを紹介してもらい採用面接を受けました。4月から仕事を始めて2年半ほどになります。

どのような仕事に従事されていますか？

院内の様々な場所の清掃が主な仕事ですが、毎週行うイベントの手配の他、アテンド業務という患者さんや通院される方の案内、院内の勉強会の出欠確認などをすることがあります。



担当する現場にて

この会社に勤めて良かったと思う事は？

一人でできる仕事が増えたことです。最初は「自分でも大丈夫かな？」と不安に思うことが多かったのですが、職場で優しく接していただき、また信頼して仕事を任せられました。少しずつできることが増えてくると、自分にもっとできることがないかと考えて、担当できる仕事を増やしていったことがよかったです。

今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

自分を採用してくれて、お世話になっている皆さんに恩返しができるように、できる仕事に精一杯取り組みたいと思います。たくさんの方が訪れる職場なので、他の人のために扉を開けてあげたり、行きたい場所を教えてあげたりといった、仕事以外の部分も大切にして働いていきたいです。